



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わが町 志津南 NEWS

志津南ホームページ
http://waka-kusa.net/

発行
志津南地区自治連合会
連絡先
志津南市民センター
(公民館) 563-6206

自治連21年度総会

会長に小野さんを二選

新年度予算、事業計画も承認

志津南地区自治連合会の平成21年度総会が3月29日、志津南市民センターで開かれました。総会では、平成20年度の事



業報告、決算報告、平成21年度の役員選出が行われたほか、協働のまちづくり検討委員会の設置、これまで夏まつり前に行われていた町内一斉清掃を五月末に前倒しすることを盛り込んだ事業計画(活動方針)案、新予算案を審議、全案件が承認されました。

私は緑豊かで自然に恵まれたこの若草が大好きです。社会が忘れかけている「思いやる心」を子ども・孫たちに伝えていければと思っています。平成16年度は子どもたちの「故郷づくり」を提唱させていただきました。諸先輩の思いが通じたのか昨年の夏まつりは若い人達でにぎわっていました。

時の経つのは早いもので、若草地区も開発から25年が過ぎ確実に高齢化社会に向かっています。また核家族化に伴い、三世代同居が少なくなる一方、お

自治連会長

小野栄祐



る町を築いていくことが大切だと考えます。こうした時代状況を踏まえ、昨年、長年の懸案だった自主防

スタートしました。担当は次のとおりです。

会長

小野栄祐(若草5丁目)

副会長

竹中秀樹(若草2丁目)

会計

吉田正之(若草4丁目)

福利環境担当

竹谷均(若草3丁目)

定額給付金の手続き開始

市では、平成21年2月1日を基準日に、市の「住民基本台帳に記録されている方」および「外国人登録原票に登録されている方」を対象に、定額給付金および子育て応援特別手当の郵送による申請の受付を始めまし

た。ご家庭に関係書類が届きましたら、必要事項を記入のうえ、同封の返信用封筒でポストに投函して下さい。

受付期間は、平成21年10月13日までです。早めに手続きして下さい。お問い合わせは専

災害を立ち上げました。大災害の時には、消防などはすぐには現地に来られません。ご近所、住民同士の助け合いが救命救助の決め手になります。このような時に備えて日頃から、向こう三軒両隣、あいさつ運動などを浸透させ、絆を強めていくことが必要です。

今、草津市では、13の各学区・地区に住民主体の「協働のまちづくり協議会」を設立し住民による地域自治を行うことを目指しています。

町づくりの主体は住民の皆様

います。

用電話「077(561)2240」草津市定額給付金コールセンター」をご利用下さい。また6月2日(火)に志津南市民センターを会場に申請受付を行うことにしています。

社協が災害体験学習

志津南地区社会福祉協議会(上田恒章会長)は3月17日、第2回福祉懇談会として、京都市の「防災市民センター」で研修会を行いました。

当地区でも将来、「地震」「火災」「台風」等の災害が発生した場合に備えて、住民を守る防災活動に役立てるため、28人の参加者全員が、地震、強風、火事などの模擬体験をしました。

迫力ある映像、秒速32kmの強風、震度7の揺れ、煙の充満した廊下も、模擬体験では余裕をもって接することができました。実際には例えば強風なら雨も伴い物も飛んできたり、地震なら家具が倒れ、煙なら咳き込むだろうという想像を加えると、日頃の心掛けや物的備えが大変大事であることを実感することが出来ました。今回参加されなかった方々も、個人、家族、仲間などでぜひ一度「防災市民センター」で体験されるようお勧めします。(社協福祉部会)

平成21年度
町内会長紹介

若草1丁目



辻本太一さん

このたび、町内会長および自治連合会の人権教育推進担当を務めることになりました。

緑豊かな若草の地に移ってきたのが約10年前、引越し翌朝いきなりスニーカーから「今日は、町内一斉清掃の日です。1丁目の方は東公園に集合してください」との声が！「東公園ってどこ?」と思いながら、とりあえずほおきを持って、「近所の方が向かわれる方向へ...」。これが町内活動と私の関わり合いの始まりであると共に、こういう町内活動を通して美しい町並みが維持されていることを知ったのでした。翌年は体育振興部長の任を受け、それ以降体育振興会に關与させていただいております。おかげさまで、1丁目内外にも知り合いが増え、最近では「我が町若草」と感じることが出来るようになってきました。

周辺地域は年々変わってきましたが、この緑豊かで居心地のいい

住環境を維持すると共に、より良く改善していくことに1年間努力していきたいと思ひます。皆様のご協力とご支援をお願いいたします。

若草2丁目



竹中秀樹さん

このたび、町内会長を務めることになりました。

若草に越してきて20年が過ぎましたが、日ごろ町内のことは妻に任せきりで皆さま方のお顔もよく知らない私ですが、これを機会に少しでも皆さま方のお役にたてるように頑張っております。

20年前に越して来た時には南草津駅もなく現在のよう便利な道路も整備されていませんでしたが、でも当時から家々や町並みは緑豊かでとても過ごし易い環境でした。

現在では大きなビックタウンとなり便利な町となりましたが、20年来続いてきた安心、安全で緑豊かな過ごしやすい環境も守ってゆきたいと存じます。

一年間微力ながら豊かな町並みの存続に向けて取り組んでゆきますので、皆さま方のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

若草3丁目



竹谷均さん

わが町若草も昭和59年の入居が始まってから25年経ち、その間、JR新駅の南草津駅や新名神の草津田上IC、立命館びわこキャンパスなどができ、周辺の環境や町なみも大きく変わってきています。

また、若草の住民の方の年齢層も当時と比べ大きく変化し、高齢化率が進んできていると思っています。

そのような中で、住民の目線に立って、三無「無駄なく、無理、無茶をしない」の方針でこの一年を皆さまのご協力を得て努めていきたいと思ひていますので、よろしくお願ひいたします。

若草4丁目



吉田正之さん

この度、町内会長および自治連合会の会計・書記を務めさせていただきますことになりました。

この若草20数年の歴史と共に築きあげられた緑豊かな町内会、今後とも高齢者にやさしい、

人々が安心して暮らせる町づくりに未熟者ではありますが、一杯務めさせていただきます。皆さまのお力添えをいただき、本年も難しい問題もあろうかと存じますが、役員一同力を合わせて一つ一つ解決に向け努力いたします。ぜひ、皆さま方のお力をお貸しくださいますようお願い申し上げます。いらない点も多いかと思ひますが、皆さまがお気づきの点はご指摘いただけますようお願い申し上げます。

若草6丁目



友村秀夫さん

本年度、町内会長をお引き受けすることになりました。この任を私で全うできるのかと不安もございましたが輪番制による選任故と割り切ることにしました。

また、社会貢献への意識も高まりのなか、そういう機会を与えられたことを幸運と考え直すことにもしました。

住みよい、住みやすい町づくりは、地域住民一人ひとりの心構え一つで、いかようにもなると思われます。皆さまの声を反映した自主的な町づくりが少しでも出来るように微力ながら尽力してまいります。

若草7丁目



金智予さん

平成21年度、町内会長、自治連合会の青少年育成区民会議理事を務めさせていただきましたことになりました。

若草に住んではや14年になります。明るく安全な環境のもと、地域の皆さまに見守られながら、子ども達をのんびりと育てることができ感謝しております。

会長の任務はとても大きく感じられ、私に務まるものなのかと大変不安ですが、地域の皆さまに少しでも恩返しができるよう頑張りたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

若草8丁目



岡茂樹さん

このたび、平成21年度の町内会長、自治連合会の体育振興会を担当させていただきましたことになりました。近年、地方分権化が進められ

力してまいりたいと存じます。ご協力ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

ている流れの中で、ここ若草でも住民自らが行う、新しいまちづくりをしようとする活動が始まりだしています。こんな時こそ、住民一人一人が、年齢や立場が違っても、その人にできることが必ずあると思ひます。そして皆が親しみを持って地域の活動に参加していただき、住みやすいまちになればと願っております。

岡本町西



吉松直也さん

この一年間、微力ながら精いっぱい努力をして行きたいと思ひておりますので、皆さまのご指導ご協力をお願い申し上げます。大変不安ですが、地域の皆さまに少しでも恩返しができるよう頑張りたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

今期の町内会長をさせて頂く事になりました。

若輩者で本当に頼りない会長ですが出来るだけ頑張らせて頂きます。

そして、これをきっかけに色々勉強をさせて頂き、皆さまともお近づきになればと思ひております。皆さまのご理解とご協力の程よろしくお願ひ致します。

小中保で入学・入園式



満開の桜の祝福を受け、志津南小・高穂中で4月8日、それぞれ入学式が行われました。第23回となる志津南小学校では少し緊張気味の新生徒72人が保護者や在校生の拍手に迎えられ、元気よく式場の体育館に入りました。馬場豊校長は「おはよう・あ

りがとう・ごめんなさい・さようなら」のあいさつの大切さを説き、「今日は何かあるかなとワクワクしながら来てください」と語りかけました。式辞の合い間に地域のお母さんが「しゅくだい」という心あたたまる絵本を読み聞かせたり、「カッコーワルツ」を軽快にピアノ演奏。最後に校長先生が父兄に「あたりまえのことがあたりまえに出てくるのが大切。それはあいさつです。学びが生活に生きる教育を進めます」と目標を訴えました。

わんぱくが囲碁ボール



わんぱくプラザ南っ子は3月14日、子ども24人と志津南公民館の自主教室「フリースポーツ」の人たち合わせて約60人が、ニョースポーツの「い」ボールを楽しみました。写真。「い」ボールは、囲碁とゲートボールを合わせたような、誰にでも気軽に楽しめる新しい室内ゲームです。この日、初心者子どもたち

一方、高穂中学校でも同日午後から第26回入学式が行われ、新しい制服に身を包んだ264人が希望に胸ふくらませ校門をくぐりました。宇野政善校長は式辞の中で「話をしっかり聞く・挨拶をしつ

かりする・いじめをしない」の三つを守ろうと呼びかけました。また一足早く4月4日には若草くるみ保育園が入園式。38人の新入園児に、片島京子園長は「楽しく元気に遊びましょう」とお祝いの言葉を贈りました。

和気あいあいの料理教室



高齢者メニューに挑戦

健康推進員によるシニア向け料理教室が2月3日、志津南市民センター（公民館）で開かれ、男性3人を含む12人が参加、管理栄養士の山元陽子さんを講師に高齢者メニューをこなしました。この日の献立は、入り豆ごはん、ホタテと白菜のスープ、豚

は「フリースポーツ」のメンバーからルール説明を聞いた後、6チームに分かれて対戦、応援するチームの大きな声援を受けながら、白熱した戦いを繰り広げました。その結果「得点頑張ったで賞」「フェアプレー賞」「チームワイク賞」「応援頑張ったで賞」など6つの賞が、子どもたちに贈

のしょうが焼き、ほうれん草のおろし和え、牛乳ゴマ豆腐、かぶの即席漬け、そしてデザートにリンゴのコンポートでした。なかでも好評だったのがカオリと油分を控えたしょうが焼き、そして節分残りの豆を使った入り豆ごはん。さらに一番好評だったのが、手作りの牛乳ゴマ豆腐でした。

られました。また、ゲームの後は、お世話になった人たちと一緒にカナッペやぜんざいをいただいて交流の活動を締めくくりました。わんぱくプラザ南っ子にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。これからも、よろしくお願ひします。

こよみ

- 4月17日（金）
狂犬病予防接種
13：40～14：30
市民センター駐車場
- 4月18日（土）
健康ウォーキング
8：15 若草中央公園集合
ボランティア養成講座・環境講座実践編『手づくり布ぞうり』 9：30～12：00
- 4月22日（水）
やすらぎ学級（公開講座）
13：30～17：00
- 4月25日（土）
社会奉仕
8：15 若草中央公園集合
宿場まつり前夜祭
- 4月26日（日）
宿場まつり
- 4月28日（火）・5月12日（火）
地域サロン：懐メロを歌う会
10：00～11：30
- 4月29日（水）
子ども会『新入生歓迎会』
9：30～12：30
- 5月1日（金）
定例健康相談日（市健康推進課） 9：30～12：00
- 5月2日（土）
健康ウォーキング
8：15 若草中央公園集合
- 5月8日（金）
ふれあい昼食会
12：00～13：00
ボランティア「泉」
- 5月13日（水）
狂犬病予防接種
10：25～11：00
市民センター駐車場
- 5月16日（土）
わんぱくプラザ南っ子
印の会場は志津南市民センター（公民館）です

（健康推進員）

サトウ 万歳

シャトルコックを打つラケットの乾いた音が志津南小学校体育館の空気を震わす。土曜日の夜、若草バドミントンクラブの会員たちが練習している。

「オグシオ」で脚光を浴びた格好のバドミントンだが、その歴史は古く、19世紀にインドで行われていた「ブーナ」という遊びを帰国したイギリス兵士が本国に伝えたのが始まりとされる。その場所がバドミントン荘という屋敷だったことから

狭いコートでシャトルを打ち合う会員たち



22年前の昭和62年、京都でバドミントンの指導経験をもつ香坂平さん(55歳、若草6丁目)が転居してきて、滋賀県が学校体育館を開放していると知りクラブづくりに乗り出した。CA TVで呼びかけると30人近くが集まった。30代から40代と

若草バドミントンクラブ

魅力はアットホーム

バドミントンと名付けられたとか。それはともかく、同クラブは今から

勝した。社会人の近畿大会ではシングルで優勝もした。そんな輝かしい過去を持つているが、地域の高齢化、少子化で思うように人が集まらなくな17人。今では年一回、秋にクラブ杯争奪を内輪で行うにとどまっている。こうした事情から練習メンバー確保の狙いもあって、同クラブは他では見られないユニークなビジター制度を設

みんな若くてチームも強かった」と当時を振り返る。平成元年には市のバドミントン協会に加盟出場した年四回の市大会ではシングルス、ダブルスいずれも準優勝した。社会人の近畿大会ではシングルで優勝もした。そんな輝かしい過去を持つているが、地域の高齢化、少子化で思うように人が集まらなくな17人。今では年一回、秋にクラブ杯争奪を内輪で行うにとどまっている。こうした事情から練習メンバー確保の狙いもあって、同クラブは他では見られないユニークなビジター制度を設

高い。そのもえ花ちゃんは「ラリーが続くようになり、とても楽しい。大きくなっても続けたい」と顔を輝かす。また最高齢会員の吉田幸一郎さん(68歳、青山)は「汗をかき気持ちよさもさることながら、定期的にハイキングや軽い山登りもする家族的な雰囲気が入っている」と話すと、クラブ発当初からのメンバーの一人で奥さんとおしどり参加の喜田彰さん(56歳、若草7丁目)も「狭いコートで時速三百*のシャトルを追うのはしんどいが、家族的で、プレーするよりおしゃべりの方が多い。これが楽しい」と笑う。正会員は少ないものの、小学生から高校生、中高年まで幅広いメンバーが醸し出すアットホームなムードがこのクラブの魅力なのだろう。

代表 香坂 平
会員 17人
活動 毎週土曜日午後7時半から9時半まで
場所 志津南小学校体育館
会費 月額600円
連絡先 香坂代表
電話(563)2175
携帯080(5323)2175

受講生募集
ボランティア養成講座・環境講座実践編
日時 4月18日(土)午前9時30分～12時
内容 エコな履きもの「布ぞうり」を作ります
対象 市内在住在勤の20名
場所 志津南市民センター
持ち物 布(あれば)、裁ちばさみ、縫い針、糸、ものさし
受講料・材料費とも不要
締め切り 4月17日(金)
申し込み 市民センターへ。

市民センター人事
草津市の4月1日付け人事異動に伴い、志津南市民センター(公民館)の社会教育指導員の河邊真さんが退職、柴野昭彦さんが常盤市民センターへ転出、新たに鶴田逸朗さん、長谷川佳子さんが着任しました。すでに1月に着任した高木こずえさんを含め計6人でスタートしました。今後とも、よろしくお願ひします。



今年の桜前線は1月2日に沖縄からスタートしたようです。わがまち志津南周辺の木々は、いよいよ枝先の蕾みを膨らませてきましたね。「わんぱくプラザ南つ子」では、毎年6月、近くの伯母川へ出掛けて蛍の観察会を行っています。私が初めて参加した観察会では「草津で蛍を楽しむ会」のみならずから蛍に関する話をいろいろ教えていただきました。その中の一つに私の食指が「ピクツ」と反応しました。それは「桜が咲いて、百日経つと蛍の姿が見られる」という話です。ご存知でしたか?

桜と蛍

一昨年の私は、イルミネーションのような蛍の群れを見に、隣の市まで車で出掛けて行きましたが、こんな身近な所で「蛍の光」が自然発生しているなんて、素敵ですね。去年の「わんぱくプラザ南つ子」の観察会では、蛍の乱舞とまではいきませんでした。それでも夏の夕涼みのひとときを演出してくれました。四季の移ろいを楽しむのに春のお花見は外せません。でも、夏は直射日光が苦手という方、蛍狩りなら大丈夫。今年はずいぶん北の上る桜前線を追いかけて桜花を愛で、開花の日を記憶して、6月の蛍観察に備えてください。(若草5丁目 西村)